

令和2年度（2020年度）行政評価シート【個表】

令和 2 年 8 月 14 日

評価対象事業		評価者	文化人権課担当課長 菅原 良	
共創-15	実施事業	平和推進事業	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	主管課 文化人権課
			<input type="checkbox"/> 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	平和	施策の方針	平和推進事業の充実

1 事業の目的

2 令和元年度(2019年度)に実施した事業の概要

対象	市民等	・市民実行委員とともに講演会や小中学校での出前講話などの平和推進事業を企画実施した。
意図	平和都市宣言及び市民憲章の精神に基づき、市民の平和意識の醸成を図るとともに基本的な人権に対する考えを定着させるため。	
効果	平和について考えるきっかけを多くの市民に提供し、平和を基調にした世界に誇れるまちづくりを図る。	

3 事業費等基礎データ

データ区分	30年度(2018年度)決算		01年度(2019年度)決算		02年度(2020年度)当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,308人	81,763世帯	176,436人	82,444世帯	176,608人	83,058世帯	・各年3月31日(住民基本台帳)
事業の対象者数							
運営資源状況	決算値(千円)	758	832	当初予算(千円)	986		
	国県支出金			国県支出金			
	地方債			地方債			
	その他			その他			
	一般財源	758	832	一般財源	986		
事業経費運営	人員配置数	0.9	0.9	人員配置数	0.9		
	人件費(千円)	7,163	7,432	人件費(千円)	7,224		
	総事業費(千円)	7,921	8,264	総事業費(千円)	8,210		
	市民1人当りの経費(円)	45	47	市民1人当りの経費(円)	46		
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、ブルダウンで選択。

効率性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥当性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きいのか	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有効性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きいのか	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公平性	受益者負担は公正・公平か	<input type="radio"/> 負担導入済 <input checked="" type="radio"/> 2. 適正な受益者負担を導入している
	協働	市民等と協働して事業を展開しているか <input type="radio"/> 協働実施済 <input checked="" type="radio"/> 協働実施済の場合のパートナー 鎌倉平和推進実行委員会
事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 見直しの内容
	事業へ統合	
予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 毎年、実行委員により様々な企画を検討、実施しているが、若年層の参加促進等の課題がある。引き続き多くの市民参加が得られる事業の企画・実施に努めるとともに周知を図るため、現状の予算規模が必要と考える。
	総評(評価に対する考え方、根拠等)	平和都市宣言の精神を広め、後世へ伝えるためには、地道な啓発活動を継続していくことが大切と考える。長年、市民委員との協働による平和推進事業の企画・実施を継続してきたが、時代の変化に合わせ、若年層への周知方法等、より効果的な事業手法の検討も必要と考える。今後も、幅広い年齢層が参加できる企画立案に努めるとともに、啓発的な事業の他、市民が主体的に参加できる事業に取り組んでいく。

令和元年度(2019年度)事業実施にあつた課題(前年度未解決の事項を含む)	・若い世代にも興味をもつていただき、多くの参加が得られるような事業の企画・実施が必要である。事業内容や周知の方法について、引き続き鎌倉平和推進実行委員会とともに検討していく。	
課題解決のために行った令和元年度(2019年度)の取組	・市内小・中学校を対象に実施している「出前講話“平和”」で、戦争体験談だけでなく、国際協力・平和構築活動の話を通して、世界の平和について考えた。	<input type="checkbox"/> 解決 <input checked="" type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	・すでに多数の参加がある高齢者世代及び小中学生以外の世代の参加を促す必要がある。事業内容や周知の方法について、引き続き鎌倉平和推進実行委員会とともに検討していく。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	事業への市民参加						単位	人	指標の傾向	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26(2014)	H27(2015)	H28(2016)	H29(2017)	H30(2018)	R01(2019)			
平和推進事業への参加者を増やすことで、市民の平和意識の醸成を促進するため。	目標値	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,000.0	3,500.0			
	実績値	2,749.0	3,309.0	3,303.0	2,841.0	3,515.0	2,101.0			
	達成率	91.6%	110.3%	110.1%	94.7%	117.2%	60.0%			